

智光山わくわく公園まつりが大々的に開催 文団連から9団体が出演

11月9日(土)・10日(日)、智光山公園主催で緑化植物園芝生広場を会場として「2013 智光山わくわく公園まつり」が実施されました。文団連は市民ステージ公演に企画段階から参画し、両日合わせて9団体が12ステージを提供しました。9日は曇り空で寒い一日でしたが、10日午後には晴れ間も見られ、人出も急上昇。クレヨンしんちゃんショーや巨大迷路、ふわふわドームなどの人気アトラクションに子どもたちも大喜び。ステージのダンスに合わせて踊り出す子ども達も居り、模擬店も合わせて賑わいました。

来年度も実施することが決まっています(11月8日・9日を予定)ので、今年参加されなかった団体にもぜひ出演していただき、みんなでサポートしていきたいものです。 会報：小川忠史



出演団体の感想 (出演順)

● 9日(土)

狭山市三曲連盟 「司会の気配りがあって良かった。また公園スタッフの方の対応も丁寧で好感が持てた。椅子以外に、子連れや高齢者用にグラウンドシートを敷いて休憩できるスペースがあると良かった。また、ステージプログラムの大きな表示があるとよい。」

狭山市新舞踊連盟 「余裕を持って早めに・・・と出かけてきましたらお客様の姿が一人もなく、この中で踊るのかと不安になりましたが、時間が近づくとつれ、大勢のお客様に集まって頂きホットしました。ホカロンでも用意すれば良かったと思える寒い日で震えながらの舞台でしたが雨が降らないだけでも幸いでした。」



狭山オカリナクラブ 「天気あまり良くなくお客様が少なかったのですが、楽しく2ステージ演奏させて頂きました。色々な催し物の一つが市民ステージなので、お客さんも分散して少なくなるのかなとは思いますが。」

雪吟会 「天気予報に反して、手足がかじかむような寒い曇り空の下、普段通りに声が出せるか否か、心配しながらステージに立ち、6人で秋を詠った漢詩7題を吟じた。手慣れたナレーションと音響係に助けられ、ややまばらな拍手もいただいて無事持ち時間を終了することができた。天候という自然現象のなかで、聴衆の出足も左右される難しさを感じた初めての経験であった。」



● 10日(日)

さやま太鼓 「初めての智光山わくわく公園まつりの出演を楽しむことができました。色づいた木々の下で一日を色々なステージの演奏も聴くことが出来ました。来年もぜひお声掛け下さい。」

紙芝居 喜楽座 「とても楽しく出来ました。子どもたちは新鮮で、大人はなつかしく観てもらえて良かったです。」

ギターサークル 弦 「天気が危ぶまれ、寒い中なんとか演奏が出来、安心しました。アンコールの声まで出て、用意していなかったのですが、少し子どもがうるさかったがクリアー出来て良かったです。」



レフア(フラ) 「司会の方が間を持って進行して頂きありがとうございます。楽しめました。お客様があたたかかったです。」

ジャズダンス MJS 「会場の子供達、お母さん達も盛り上がり、楽しいステージになりました。特に着ぐるみのMJSダンサーの『まるまる♪もりもり♪』は、ちびっこ達がステージの前に集まり、一緒にまねして踊り出し、アクロバットではでんぐり返しが始まり、観ているお母さん、智光山のスタッフの皆さんも大爆笑でした。楽しいイベントになりました、お疲れ様でした。」

編集後記

秋の文化祭が始まる頃に台風で、大島が大災害。天候も不順で、一気に冬。私は民謡とハーモニカの発表。他の発表も出来るだけ見て回った。忙しかったが、どの会場も用意した椅子が空いていて勿体ない。そんな時、入間川と広瀬の「民話めぐり」に行き、由来や、昔話、郷土の偉人のこと等、近くに住んでいても知らなかった事多く、有意義で楽しめた。「民話めぐり」は、マスコミにも取り上げられています。

(高沢正夫)